

ふれあい

NO. 201

2010. 3. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06 (6765) 5621 FAX 06 (6765) 5623

東淀川区支部創立三〇周年のつどい開催!

東淀川区支部 森脇 安佐子

去る、二月二十四日、入所施設ハニカムつどいホール(東淀川区淡路)にて支部創立三〇周年のつどいを開催しました。ご多忙の中、笹野井理事長・小泉理事・長田常務理事にご臨席いただきました。正会員十五名・重複会員一名・賛助会員二名と小さな行政支部ですが、体調不良にもかかわらず、また親の介護の合間をぬって十五名の会員が出席しました。

小泉理事に「家族支援プロジェクト」の冊子を基にミニ講演をしていただきました。「子供を他人に託す」という第一歩が踏み出せずにいる会員も自分たちの高齢化(会員の年齢は五十歳半ばから八十歳代です)を考えると子供の将来のため、今、何をすべきか考えさせられる時間でした。

また、親が望む将来のためには子供を根気よく練習させたり、必要な支援を行政に働きかける等努力も大事というお話でした。以前、故山川宗計先生を中心に活動していた『家族支援』のことが話題になり、その活動の結果として、ガイドヘルパー事業を実現させる等、先輩会員の方々も当時のご苦勞を思い出され、小泉理事も会員も涙・涙…講演後、支部立ち上げにご尽力くださった武田会員(支部最高齢八十九歳)の「菊づくし」の華麗な舞いに感激!数年前に脚を骨折されたとは思えない姿勢・意気込みにパワーをいただきました。

保健福祉センターをはじめ事務局長をしていただいている「あすわくく」施設長の山内先生には記念誌を作成して



いただいたり、副施設長の小山先生には写真係をしていただいたり、ノーマライゼーション協会(ハニカムの母体)には毎月つどいホールを貸していただいたり、と地域関係者にはいつもご支援・ご協力いただいて三〇周年を迎えられたのだと思います。これからも地域で連携して発展していきたいと願っています。

十年後の四〇周年も会員皆が元気で開催できるよう、長く活動したいね!との思いを抱きながら閉会しました。

日本知的障害者福祉協会 部会分科会協議会に 参加して

大阪市育成会地域生活
支援センター 藤原勇治

三月八日〜九日にかけて、東京・TFTビルにて、日本知的障害者福祉協会 部会分科会協議会が開催され、私も大阪知的障害者福祉協会 通勤寮分科会座長として会議に参加して来ました。部会分科会協議会は、知的障害者福祉協会に属する各都道府県の各分科会代表者が集まり、新年度に向けた最新情報を確認したり、各部会・分科会の活動状況や課題等について協議される機会です。その中からいくつかの報告をいたします。

今年度の協議会では、まず、厚生労働省より、社会援護局障害保健福祉部 障害福祉課長 中島誠氏より、障害者支援施策の最近の動向について行

(四面に続く)